

令和2年度 事務事業評価(令和元年度実施事業事後評価)シート / 令和3年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報											整理番号	023				
事務事業名	地域医療体制確保事業経費					補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input type="checkbox"/> 決まっていない	予算	会計名	一般会計	款	項	目	事業
担当部	保健福祉部	担当課	保健推進課		担当係	管理係					4	1	1	4		
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称: )					根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: ) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: ) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: )									

2 事務事業の概要											☞ 予算事業全体について記入して下さい。				
対象	・小児科診療を受診することもと保護者 ・休日・夜間において、手術や入院診療を必要とする市民。					内容・手段	・常総地域病院群輪番制病院運営事業費負担金・休日・夜間における重症救急患者の医療確保のため輪番制方式を行っている。 ・常総地域小児救急医療輪番制病院運営事業費負担金・休日・夜間における小児救急患者の医療確保のため協力病院が診療を分担している。 ・茨城西南地方広域市町村圏事務組合負担金・休日夜間における重症救急患者及び、小児救急患者の医療のため協力病院を輪番制で確保。 ・きぬ医師会病院小児科運営費補助金・小児科医不足に対応し小児科診療に従事する職員給与の一部補助をすることにより小児科医の確保を行う。 ・きぬ医師会地域医療体制強化事業費・常総市、坂東市、つくばみらい市3自治体共同によるきぬ医師会病院への支援。								
目的	・身近な市内の病院で、小児科診療を受けることができる状態にする。 ・市民が休日・夜間において、手術や入院診療が必要になった場合、安心して二次救急医療を受けることができる状態にする。 ・きぬ医師会病院と地域の連携し診療機能及び小児科、産科の充実を図る。														

3 事務事業の主たる成果指標											☞ 数値目標の設定が困難な場合は、文言目標でも結構です。なお、設定が困難な事業は空欄とし、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。				
指標名	きぬ医師会病院の常勤の小児科医数	単位	人	目標値	1	目標年次	毎	年度	指標及び目標値設定の考え方(または設定できない理由)	全国的に小児科医が不足している現状の中、常勤の専門医による診療体制を維持することで、市民が身近なきぬ医師会病院で小児科診療を受けることができるため。					

4 事務事業の実績 ①																
平成29年度					2年間の主な事業内容(実績)											
決算額	円	内訳	特定財源	円	前年度(平成30年度)					今年度(令和元年度)						
13,000,979	円		一般財源	13,000,979	円	①常総地域病院群輪番制病院運営事業 491人 ②常総地域小児救急医療輪番制病院運営事業 245人 ③茨城西南地方広域市町村圏事務組合負担金 211人 ④きぬ医師会病院小児科運営費補助金 6,479人 ⑤口腔センター土浦備品整備費補助金					①常総地域病院群輪番制病院運営事業 378人 ②常総地域小児救急医療輪番制病院運営事業 229人 ③茨城西南地方広域市町村圏事務組合負担金 199人 ④きぬ医師会病院小児科運営費補助金 6,326人 ⑤きぬ医師会地域医療体制強化事業費					
目標に対する実績値				1	人											
(住民一人あたりの行政コスト)				215	円											
平成30年度																
決算額	円	内訳	特定財源	円												
15,220,051	円		一般財源	15,220,051	円											
目標に対する実績値				1	人											
(住民一人あたりの行政コスト)				254	円											
令和元年度																
決算額	円	内訳	特定財源	円												
22,312,808	円		一般財源	22,312,808	円											
目標に対する実績値				1	人											
(住民一人あたりの行政コスト)				375	円											

5 担当課評価 ②											☞ 実施したことによる成果や課題を記入してください。					
成果	目標は設定していない															
成果内容分析	「指標及び目標値設定の考え方」のとおり成果に繋がるわけではないが、市民が安心して生活していくためには、入院治療を必要とする重症の救急患者を受入れ可能な、24時間体制の医療機関が必要である。															
課題	住民の高齢化が年々高くなっていくに当たり、診療科目等の増加及び医師の確保が重要視される。															

7 実施計画 ③											☞ 今後3年間について、何をどの程度実施していくか具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。							
年度	令和2年度					令和3年度					令和4年度							
事業内容	●地域医療内の病院が輪番制方式により、休日・夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の受け入れ体制の確保。 ○常総地域病院群輪番制病院運営事業費負担金 地域内8医療機関の協力を得て実施 ○常総地域小児救急医療輪番制病院運営事業費負担金 地域内の2医療機関の協力を得て実施。 ○茨城西南地方広域市町村圏事務組合負担金 病院群輪番制:地域内の6医療機関の協力により実施 小児救急医療輪番制:地域内の3医療機関の協力により実施 ○きぬ医師会病院小児科運営費補助金 小児科医療不足の対策として、きぬ医師会病院小児科診療業務に従事する職員給与の一部助成。					●地域医療内の病院が輪番制方式により、休日・夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の受け入れ体制の確保。 ○常総地域病院群輪番制病院運営事業費負担金 地域内8医療機関の協力を得て実施 ○常総地域小児救急医療輪番制病院運営事業費負担金 地域内の2医療機関の協力を得て実施。 ○茨城西南地方広域市町村圏事務組合負担金 病院群輪番制:地域内の6医療機関の協力により実施 小児救急医療輪番制:地域内の3医療機関の協力により実施 ○きぬ医師会病院小児科運営費補助金 小児科医療不足の対策として、きぬ医師会病院小児科診療業務に従事する職員給与の一部助成。 ●市民が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるため、市内に産科医療施設を開設等しようとする者に対し、その開設等に要する経費の一部を補助する。 ○利子補給補助:用地取得費及び医療機器・備品購入費に充当する借入金の利子について、年額5,000千円を限度に3年間補助する。 ○事業補助:限度額合計50,000千円 (用地取得事業)産科医療施設用地の取得に係る経費 (施設建設事業)産科医療施設開設各工事に係る経費 (医療機器購入事業)産科医療機器購入に関する経費					●地域医療内の病院が輪番制方式により、休日・夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の受け入れ体制の確保。 ○常総地域病院群輪番制病院運営事業費負担金 地域内8医療機関の協力を得て実施 ○常総地域小児救急医療輪番制病院運営事業費負担金 地域内の2医療機関の協力を得て実施。 ○茨城西南地方広域市町村圏事務組合負担金 病院群輪番制:地域内の6医療機関の協力により実施 小児救急医療輪番制:地域内の3医療機関の協力により実施 ○きぬ医師会病院小児科運営費補助金 小児科医療不足の対策として、きぬ医師会病院小児科診療業務に従事する職員給与の一部助成。 ●市民が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるため、市内に産科医療施設を開設等しようとする者に対し、その開設等に要する経費の一部を補助する。 ○利子補給補助:用地取得費及び医療機器・備品購入費に充当する借入金の利子について、年額5,000千円を限度に3年間補助する。 ○事業補助:限度額合計50,000千円 (用地取得事業)産科医療施設用地の取得に係る経費 (施設建設事業)産科医療施設開設各工事に係る経費 (医療機器購入事業)産科医療機器購入に関する経費							
	成果指標	指標名	きぬ医師会病院の常勤の小児科医数	単位	人	目標値	1	指標名	きぬ医師会病院の常勤の小児科医数	単位	人	目標値	1	指標名	きぬ医師会病院の常勤の小児科医数	単位	人	目標値

6 担当部長評価 ④											☞ 担当部長で協議のうえ、評価してください。					
事務事業の方向性											<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止					
評価理由	市内の小児科専門医は、きぬ医師会病院小児科の他にはなく、その受診者数は年々増加傾向にあることから、その位置づけの重要性が伺える。また、少子化対策の一環として、市内への産科医療施設誘致に向けた施策を講じることで、市民が安心して子どもを産み育てられる環境を整えるためにも事業の拡充が必要である。															

8 行政改革懇談会(市民)の意見										
担当部長評価のとおりでよい。病院との連携はもちろん、電話やオンライン診療を取り入れると良いのではないかと。健康づくりのための勉強会を開催し、医療費の軽減も図って欲しい。また、少子化対策の一環として、市内への産科医療施設誘致に努められたい。										

9 最終評価(行政改革推進本部) ⑤											☞ 実施計画のみ作成する場合も記入してください。					
事務事業の方向性											<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止					
評価理由	地域医療体制の確保は、医療に対する市民の不安を取り除くためにも、重要である。特に産婦人科誘致については、要望も強く、子どもを産み育てられる環境を整えるためにも誘致に向けた施策を推進していただきたい。															

10 事務事業の改善点と理由 ⑥											☞ 実施計画のみ作成する場合も記入してください。									
事業内容																				
予算額	歳出	計	22,586	千円	歳出	計	77,586	千円	歳出	計	77,586	千円	歳入	計	77,586	千円	歳入	計	77,586	千円
	歳入	特定財源		千円	歳入	特定財源		千円	歳入	特定財源		千円	歳入	一般財源	22,586	千円	歳入	一般財源	77,586	千円
		一般財源	22,586	千円			77,586	千円			77,586	千円		計	22,586	千円		計	77,586	千円